

需要抑制計画等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（案）に対して受領したご意見・質問等と本機関回答

項番	頁・章・節	意見・質問等	本機関回答
1	6頁3章1節	<p>需要抑制計画関係メッセージのデータ要素</p> <p>JP06400 供給地点特定番号 △ の理由について 任意項目となったが、空欄で来るケースはどういう場合か？ 高圧需要者の場合は必須で、低圧需要者の場合は計画が合計になるので空になるなどの違いがあるのか？</p> <p>本シートに記載されているフォーマットはいつから運用開始なのか？ 2017年4月1日(実際には3月後半)で使用するフォーマットとは異なるのか？ 異なる場合は、そのフォーマットを提示して欲しい。</p>	<p>供給地点特定番号については、“△：任意項目（項目使用如何・空欄許容如何は当事業者間で取り決め）”としており、事業者間で協議いただく項目となります。弊機関では、供給地点特定番号については原則記載する必要はないと考えていますが、ある供給地点特定番号についてネガワット取引の異なる類型でそれぞれ需要抑制される場合には、協議のうえ、個別の供給地点特定番号について記載いただく必要があると考えています。</p> <p>本規格による運用開始時期は、本規格確定後、システム開発に必要な期間等を考慮のうえ、決定いたします。なお、運用開始時期は、弊機関ホームページ等でお知らせする予定です。本規格による運用開始までは、「ネガワット取引に関する説明会資料」に記載の様式で運用を行いますが、詳細は、ネガワット事業者向けに資料を開示していきます。</p>
2	4頁1章3節	<p>業務イメージ</p> <p>今回のフォーマット変更により、需要抑制契約者から需要抑制計画以外の需要調達計画は送付不要となった認識で良いか？ 以前は、調達と販売のみを記載した需要調達(or発電販売)が必要であったと思う。 必要な場合は、いつまで必要であるか提示して欲しい。</p>	<p>本規格による運用開始以降は、需要抑制契約者は、需要抑制計画、調達計画、販売計画の内容を含む計画を需要抑制計画1ファイルとして提出いただくこととなります。運用開始時期については項番1のとおり、今後決定いたします。</p>
3	6頁3章1節	<p>需要抑制計画関係メッセージのデータ要素</p> <p>翌日需要抑制計画メッセージの場合、JP06233 プロラタ内優先順位が△となっているが、空欄で来るケースはどういう場合か？ 例えば、同一優先順位内で1件しかない場合は、プロラタ内優先順位が無いなど。</p>	<p>優先順位（JP06232）のみで仕訳可能とするような場合は、プロラタ内優先順位は不要となります。</p> <p>また、優先順位が同じ場合は、計画値按分（プロラタ）処理を行いますが、計画値按分処理で端数が生じるとプロラタ内優先順位（JP06233）を使って端数処理を行います。この際にプロラタ内優先順位を最劣後として扱う場合は、プロラタ内優先順位は不要となります。</p>
4	6頁3章1節	<p>需要抑制計画関係メッセージのデータ要素</p> <p>需要抑制を実施しない場合は、下記の項目が0kwhで送付される認識でよいか？ JP06608 抑制計画値抑制BG計(kWh)</p> <p>また、以下の項目に負の値が入力されることはあるか？ JP06606 抑制計画値(kWh)</p>	<p>JP06608 抑制計画値抑制BG計(kWh)については“○：必須項目（空欄不可）”としていただきますので、需要抑制を行わない場合は、0kwhが記載されます。</p> <p>また、JP06606 抑制計画値(kWh)については、需要抑制であることから0以上の数値が入ります。</p>